

4－3 実践事例及び考察

実践事例3 第5学年

伝記を読んで、自分の生き方について考え、『5の1人物事典』をつくろう

教材 「百年後のふるさとを守る」（光村図書 5年）

○実践校における課題の焦点化

「書かれている内容を正確に捉えること」
「求められた様式に合わせてまとめること」



○課題の解決に向けて必要な力

「書かれている内容を正確に捉える力」
「求められた様式に合わせてまとめる力」



○授業改善のポイントを生かした手立て

ア 児童に見通しをもたせ、主体的な学びをつくること

[手立て①] 描かれた人物の行動や考え方、生き方を正確に捉えるために、本文の文章に着目できるようなワークシートを作成する。

[手立て②] 自分の考えを求められた様式に合わせてまとめさせるために、まとめ方モデルを示す。

[手立て③] 人物像を表す語彙を増やすために「言葉のたから箱」を利用する。

イ 単元を通して言語活動を位置付けて授業を行っていくこと

[手立て④] 単元を通じた言語活動として、「伝記を読んで5の1人物事典を作ろう」を仕組み、本教材学習後に自分が選んだ伝記で人物事典カードを書かせる。

ウ 自分の考えを広げたり深めたりさせる話し合いを授業に取り入れること

[手立て⑤] 児童が考えを広めたり深めたりする場として、グループ学びを設定する。

エ 学びを自覚させる振り返りを取り入れること

[手立て⑥] 単元末や授業後に自己評価を行わせ、「学習してわかったこと」や「自分ができるようになったこと」を書かせることで、自分の学びを自覚させるようにする。

指導計画

- 1 単元名 伝記を読んで、自分の生き方について考えよう
 伝記を読んで『5の1人物事典』を作ろう
 教材「百年後のふるさとを守る」（光村図書 5年）

2 単元について

(1) 児童観

児童は、これまでに「広がる、つながる、わたしたちの読書」という単元で、自分が読んでよかったと思う本を薦める学習をポップカードという形にまとめる活動を経験している。ポップカードづくりを通して、相手意識をもって書くことや相手を引き付けるキャッチコピーを考えること、あらすじにまとめることを経験している。しかしながら、読んでいる本には、文字数やページ数、読んでいる本の種類にも個人差があり、まとめ方にも文字数の面で個人差が見られた。また、本学級の児童は、進んで読書をしている児童も一定数いるが、読書に興味がない児童もまた一定数見られる。よく読書をしている児童であっても、自分の好みのシリーズものを読んでいることが多い。歴史上の人物に興味を抱いている児童もいるが伝記を読むことは少なく、読まれている伝記も漫画形式になっているものが多い。

(2) 教材観

教材「百年後のふるさとを守る」は、教科書に掲載された物語「稲村の火」のモデルとなった「浜口儀兵衛」という人物の人生を描いた伝記である。儀兵衛のふるさと再生に献身する姿や、周りの人々を動かす固い決意、誠実な生き方は、読み手の心を打つ。伝記を教科書題材として扱うのは、児童にとっては初めてであるが、本教材の浜口儀兵衛の生き方は、児童にその生き方を学ばせるのに適した教材であると考えられる。

この教材は、物語のように書かれている部分と筆者の考えが書かれている部分があり、時系列で儀兵衛の業績が書かれている。物語のような部分では、儀兵衛の行動や考え方に自分を置き換えて読むことができ、筆者の考えの部分では、業績の意義について考えることができるようになっている。しかしながら、児童の読み広げる伝記の多くは、物語のような部分で構成されており、筆者の考えは、登場人物に言わせる言葉や思い、行動の中に込められていることが多いと思われる。

(3) 指導観

本単元では、伝記に描かれた人物のすごさを出来事や行動、考え方に着目し、自分が読書の対象とした人物のすごさや人物像を読み取り、人物事典にまとめる活動を、単元を通じた言語活動として位置付ける。

具体的な手立てとして、6つの手立てを講じていくようにする。

- ① 描かれた人物の行動や考え方、生き方を正確に捉えるために、本文の文章に着目できるようなワークシートを作成する。

描かれた人物の人物像等を本文中の行動や考え方を根拠として考えることができるように、本文を載せたワークシートを作成する。根拠として考える文に傍線を引かせることで、自分の考えの根拠となる内容を的確に捉える力を育てていくようにする。

- ② 自分の考えを求められた様式に合わせてまとめさせるために、まとめ方モデルを示す。

まずは、5年生の道徳教材で学習したキング牧師と手塚治虫氏を活用して、教師が言語活動のモデルを示し、伝記や人物事典に興味をもたせるようにする。教師が言語活動のモデルを示すことで児童に見通しをもたせて主体的に学習に臨ませる一助とすることができると考える。

また、個人の人物事典カードが、『5の1人物事典』の1ページになることを知らせておく。人物事典カードを書くことが、伝記を読む際のポイントを押さえることにつながるよう、「業績・功績」「人物の簡単なプロフィール」「人物像」「自分と比べて」の項目でまとめさせるようにする。

そして、「浜口儀兵衛」の人物事典カードを考え作り上げていく過程で、人物に対する思いを友達と紹介し合い、共通点や相違点に気付かせることで、人物に対する思いを深めたり広めたりさせるようにする。

③ 人物像を表す語彙を増やすために「言葉のたから箱」を利用する。

教科書に載っている言葉のたから箱（P240）だけでなく、これまでの学習や伝記の人物像を表すのに適しているであろう言葉を教師が増やして提示することで、語彙数を増やすようにする。また、分からない言葉は辞書を使うことを定着させるよう、国語辞典の活用も図るようにする。

④ 自分の考えや思いを見つめ直すために、単元を通した言語活動として、「伝記を読んで『5の1人物事典』を作ろう」を仕組み、本教材学習後に自分が選んだ伝記で人物事典カードを書かせる。

学級文庫に伝記の本をそろえ、伝記の読書を推進する。また、手立ての②で述べたように「浜口儀兵衛」の人物事典カードもモデル文と同様にまとめさせることで、人物事典を作る見通しをもたせるようにする。

児童が単元を通して主体的に学び、その単元で付ける力を確かに付けるために学習課題を示す。学習課題には、児童に身に付けさせたい指導事項、的確に読む際の考え方、言語活動を含ませるようにし、児童も課題解決の意識をもちながら学習を進めていくようにする。本単元においては、学習課題を「伝記を読んで、伝記に描かれた人物像やそれについての自分の感想を、文章中の出来事や人物の行動、考え方を根拠にして、自分の考える伝記の人物のすごさを人物事典に書く」と設定する。

⑤ 児童が考えを広めたり深めたりする場として、グループ活動を設定する。

まずは、児童が一人学びで、「浜口儀兵衛」の人物像を捉え、どの文章を根拠にそう考えたのかをはっきりもたせたい。次に、グループ学びを行い、それぞれが考える人物像を話し合わせる。同様の意見であっても、また違った角度から見た意見であっても、考えを深めたり、広めたりすることができるように考える。

⑥ 単元末や授業後に自己評価を行わせ、「学習してわかったこと」や「自分ができるようになったこと」を書かせることで、自分の学びを自覚させるようにする。

単元末で児童に今まで使ったワークシートや人物事典カードを振り返らせ、学習課題に対する自己評価を行わせ、主体的に学習に関わる姿勢を育てていくようにする。

3 単元の目標

○伝記の特色を知り、人物の生き方や考え方、行動や業績を自分と関連させて捉え、自分の生き方につ

いて考えることができる。

4 単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
・「伝記」という分野や、そこに描かれた人物の生き方や考え方に興味をもち、読むことを楽しもうとしている。	・物語部分を読み、対象人物がどんな人物であるかを文章中から根拠を見付けている。（エ） ・友達の感じ方や考え方との共通点や相違点を確認している。（オ）	・話し言葉と書き言葉の違いに気付いて人物事典を書くことができている。（イ(ア)）

5 指導と評価の計画（全7時間）（授業改善のポイントを生かした手立てについては、番号と下線で示す 『①-...』）

次	時間	学習活動	指導上の留意点	評価規準【 】と評価方法（ ）
一	1	○学習の見通しをもつ。 ・伝記について知る。 ・伝記の人物と自分とを比べることで自分の考えや思いを見つめ直すという学習のゴールの姿を知り、学習課題を考える。	・様々な人物の伝記を用意し伝記に興味をもたせる。（事前） ② <u>まとめ方モデルを提示することで単元の終わりに伝記を読んで人物事典カードを書くことを伝え、読みたい伝記を読書の時間を利用して読ませる。また、「すごいと思ったこと」を視点に付箋を付けながら読むようにさせる。</u>	【関】 ・伝記に描かれた人物に興味をもち、読もうとしている。 (観察)
		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>《学習課題》</p> <p><u>伝記を読んで、伝記に描かれた人物像やそれについての自分の感想を、文章中の出来事や</u></p> <p><u>④ 人物の行動、考え方を根拠にして、自分の考える伝記の人物のすごさを人物事典に書く。</u></p> </div> <td>・伝記「百年後のふるさとを守る」に出会う。 ・浜口儀兵衛がどんな人物であるかを短い言葉で書く。 例：○○な人。 ひとり学び</td> <td>・教材文の音読を聞かせることで、心に残った儀兵衛の人物像を捉えさせる。</td> <td>【読（エ）】 ・浜口儀兵衛がどのような人物であるかを○○な人として書くことができる。 (ノート)</td>	・伝記「百年後のふるさとを守る」に出会う。 ・浜口儀兵衛がどんな人物であるかを短い言葉で書く。 例：○○な人。 ひとり学び	・教材文の音読を聞かせることで、心に残った儀兵衛の人物像を捉えさせる。
二	2	○浜口儀兵衛の大まかな人物像を捉える。 ・モデルの紙面を基に、まとめる視点を考える。 ・学習計画を立てる。 ・「業績」「いつ頃の人、どこの人」などの簡単なプロフィールを書く。	・「業績」「プロフィール」を文中より探し、学習カードにまとめさせる。	【読（エ）】 ・「浜口儀兵衛」の業績と簡単なプロフィールを見付けている。 (学習カード・発表)

	<p>3</p> <p>○<u>俯瞰的に読み、儀兵衛の人物像の根拠をはっきりする。</u></p> <p>① ひとり学び</p> <p>⑤ グループ学び</p> <p>クラス学び</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・儀兵衛のすごさの根拠となる文章に傍線を引かせ、「〇〇な人」と見出しを付けさせる。 ・「〇〇な人」の表現に関しては、文中の言葉を引用したり「言葉のたから箱」を活用したりしてよいことを知らせ、伝記の人物の魅力を書かせるようにする。 	<p>【読（エ）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「浜口儀兵衛」の人物像について、文中の言葉を根拠に書いている。（ワークシート・発表）
	<p>4</p> <p>○<u>自分が捉えた人物像と友達が考える人物像を比べて儀兵衛の人物像に迫る。</u></p> <p>① ひとり学び</p> <p>⑤ グループ学び</p> <p>クラス学び</p> <p>ひとり学び</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・前時での学習を基に儀兵衛の人物像について更に詳しく考えさせる。 	<p>【読（エ）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人物事典カードに浜口儀兵衛の人物像を文中の言葉を使って根拠に書いている。（人物事典カード）
	<p>5</p> <p>○自分と比べて感想を書く。</p>	<p>○穴埋め感想文の型や書く項目の例やモデル文を参考にさせる。</p>	<p>【読（オ）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・浜口儀兵衛のすごさに気づき、今の自分と比べて感想を書いている。（人物事典カード）
<p>三</p>	<p>6</p> <p>○自分が選んだ伝記で、人物事典を書く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「浜口儀兵衛」の人物事典カードをどのように書いたかを確認する。 ・自力で人物事典カードが書けるように励まし、「言葉のたから箱」を参考にして、人物像を考えるよう促す。 	<p>【読（オ）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分が選んだ伝記の人物の業績、簡単なプロフィール、人物像、自分と比べての感想を書いている。（人物事典カード） <p>【言（イ（ア））】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話し言葉と書き言葉の違いに気付いて人物事典を書いている。
	<p>7</p> <p>○『5の1人物事典』を読み合い、感想交流をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・人物事典を読み合い、「業績」「プロフィール」「人物像」「自分との比較」を自分の選んだ伝記の人物と比べながら読み合わせることで、更に自分の生き方や考え方を深めたり、広げたりするようにする。 	<p>【関】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『5の1人物事典』について意欲的に感想を発表している。（観察）

第5学年 実践事例 （1時目）

1 本時の目標

- ・伝記に描かれた人物に興味をもって読もうとすることができる。【関・意・態】
- ・浜口儀兵衛がどんな人物であるかを〇〇な人として書くことができる。【読】

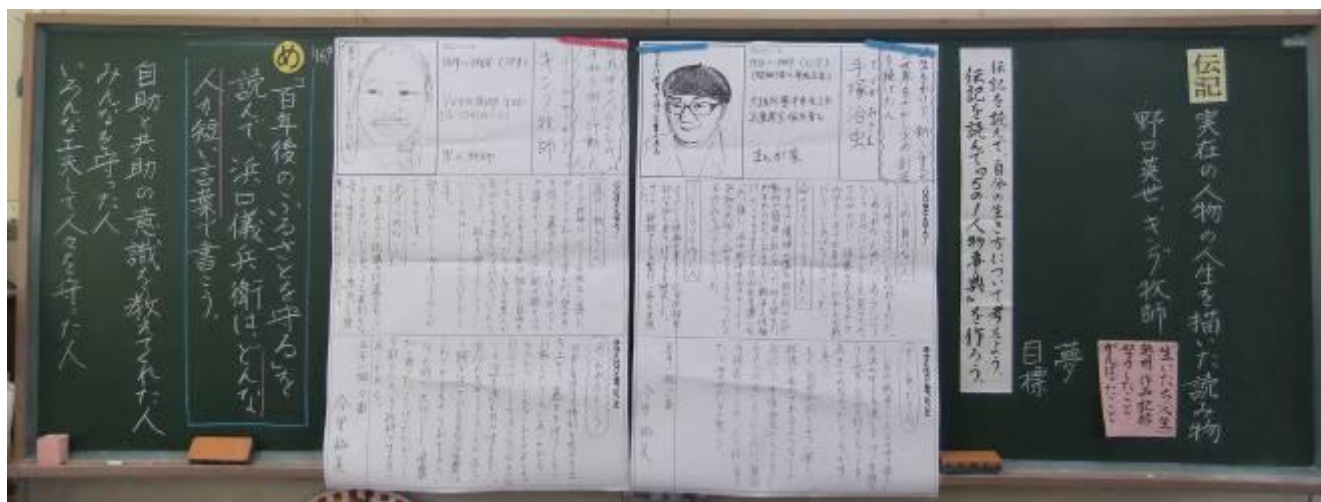
2 本時の展開（全7時間 本時1／7）

学習活動	教師の働き掛け(○)
1 伝記を読んだ経験や感想を 発表し合う。	○読書感想文で、伝記を読んで感想を書いた児童を紹介することで、伝記に これまで興味を抱いていなかった児童にも友達が興味をもっている人物 がいることを知り、関心をもたせるようにした。
2 伝記の特色を知り、伝記を 読むことの意義や価値につい て考える。	○伝記に対する児童の知識を引き出したうえで、教科書P168を使って伝記 の特色を整理させた。 ○「伝記コーナー」を設置し、様々な人物の伝記を用意して、並行読書を始 めさせた。また、伝記の本を紹介した。
3 学習のゴールの姿を知り、 学習課題を知る。	○道徳で学習したキング牧師と手塚治虫の学習カードをモデルとして用意 しておくことで、学習の見通しをもたせた。
<div style="border: 2px solid blue; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>《学習課題》</p> <p>伝記を読んで、伝記に描かれた人物像やそれについての自分の感想を、文章中 の出来事や人物の行動、考え方を根拠にして、自分の考える伝記の人物のすご さを人物事典に書く。</p> </div>	
<div style="border: 1px solid blue; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>《本時のめあて》</p> <p>「百年後のふるさとを守る」を読んで、浜口儀兵衛はどんな人か短い言葉で書こう。</p> </div>	
4 伝記「百年後のふるさとを 守る」に出会う。	○教材文に書かれている人物が、どのような人であったか書くことを知ら せ、教材文を範読した。 ○漢字の読みや分からない語句については、家庭学習で取り組むように指示 を出した。
5 浜口儀兵衛がどのような人 であるかを短い言葉で書く。	○児童が書いた人物に対する言葉を「言葉のたから箱」に加え、今後の活動 の参考にするようにさせた。【評価】
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">ひとり学び</div>	

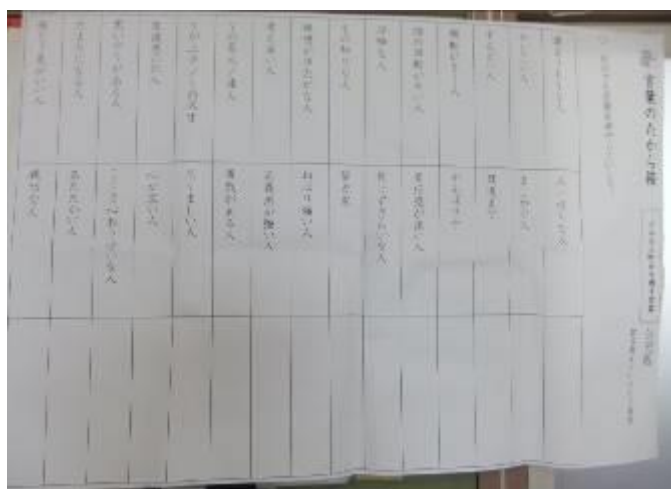
3 本時の評価

評価規準	・浜口儀兵衛に興味をもって読み、どのような人物であるかを〇〇な人としてまとめようとしている。 【関・意・態】・【読】		
判断の基準	十分満足できる状（A）	おおむね満足できる状況（B）	努力を要する状況の児童への支援（C）
	浜口儀兵衛がどのような人であるか、教材文の言葉を使ったり「言葉のたから箱」から選んだりしてまとめている。	浜口儀兵衛がどのような人であるか、「言葉のたから箱」から言葉を選んでまとめている。	→「儀兵衛のすごいところは？」 「一番感心したことは？」など簡単な言葉で個別に問い掛け、そこからどのような人と思うかを引き出すようにする。
評価の方法	発言・ノート		

4 板書及び教室環境



1時目の板書



言葉のたから箱掲示



並行読書用の学級文庫

第5学年 実践事例 （2時目）

1 本時の目標

モデル文を基に、伝記をまとめる視点に気付いて、学習計画を立てるとともに、浜口儀兵衛の「業績」「簡単なプロフィール」を書くことができる。【読】

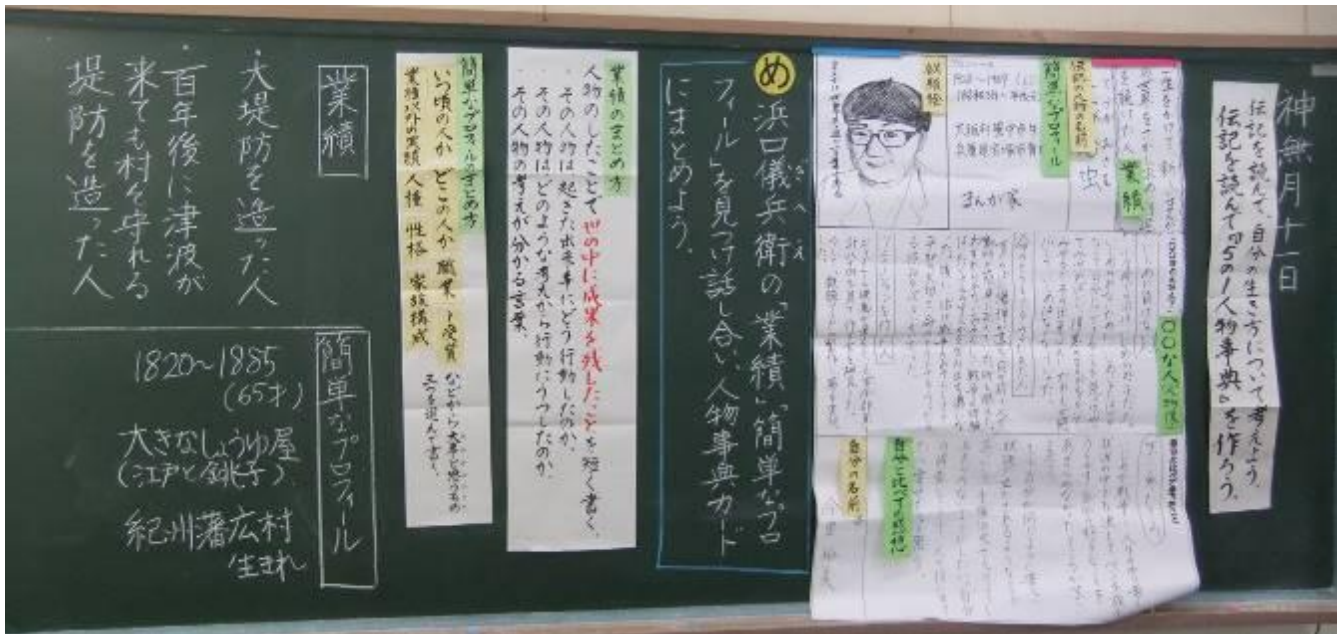
2 本時の展開（全7時間 本時2／7）

学習活動	教師の働き掛け(○)
1 モデル文を見ることにより、伝記を読む視点を確認する。 2 学習計画を知り、本時のめあてを確認する。	○人物カードに書くことは、「業績」「人物名」「簡単なプロフィール」「印象に残った人物像」「自分と比べての感想」であることを確認させた。 ○資料を基に今後の学習の進め方を確認させた。
《本時のめあて》 浜口儀兵衛の「業績」「簡単なプロフィール」を見付け話し合い、人物事典カードにまとめよう。	
3 教材文を俯瞰的に読み、浜口儀兵衛の「業績」「簡単なプロフィール」を考える。	○儀兵衛の「業績」「簡単なプロフィール」を教材文から読み取らせ、教科書に傍線を引かせた。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p style="text-align: center; margin: 0;">業績のまとめ方</p> <p style="margin: 0;">人物のしたこと世の中に成果を残したことを短く書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・その人物は、起きた出来事にどう行動したのか。 ・その人物は、どのような考えから行動に移したのか。 ・その人物の考えが分かる言葉。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p style="text-align: center; margin: 0;">簡単なプロフィールのまとめ方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いつ頃の人か ・どこの人か ・職業 ・～受賞 ・業績以外の実績 ・人種 ・性格 ・家族構成 <p style="margin: 0;">などから大事だと思うもの3つを選んで書く。</p> </div>
4 友達と意見交換をする。 5 人物事典カードにまとめる。	○隣の児童と見付けたところを互いに確認させたのち、「業績」「簡単なプロフィール」を発表させ、クラス全体で考えさせた。 ○まとめ方は言葉が文中の言葉の抜き書きでもよいし、内容があっていれば、言葉が違ってよいことを知らせ、人物事典カードにまとめさせた。悩む児童には、教材文に書いてある文章をもう一度読むよう助言し、文と一緒に確認するようにした。【評価】
6 学習を振り返る。	○教材文から分かることを根拠に、人物事典カードにまとめることができたかを自己評価させた。

3 本時の評価

評価規準	浜口儀兵衛の「業績」と「簡単なプロフィール」を見付け、書いている。【読】		
判断の基準	十分満足できる状況（A）	おおむね満足できる状況（B）	努力を要する状況の児童への支援（C）
	「業績」と「簡単なプロフィール」を教材文から見付けており、人物の特徴を表すのに適切な表現で書いている。	「業績」と「簡単なプロフィール」を教材文から見付けて、書いている。	→業績に関しては、「儀兵衛のすごいところは？」「一番感心したことは？」と尋ね、教材文のどこに書いてあったか見つけ直させる。また、プロフィールに関しては、本論に書かれている内容を参考にさせる。
評価の方法	人物事典カード		

4 板書



2時目の板書

第5学年 実践事例 （3時目）

1 本時の目標

教材文全体を俯瞰的に読み、自分が考える儀兵衛の人物像を本文中の儀兵衛の行動や言葉、考え方などの叙述を根拠に考えることができる。【読】

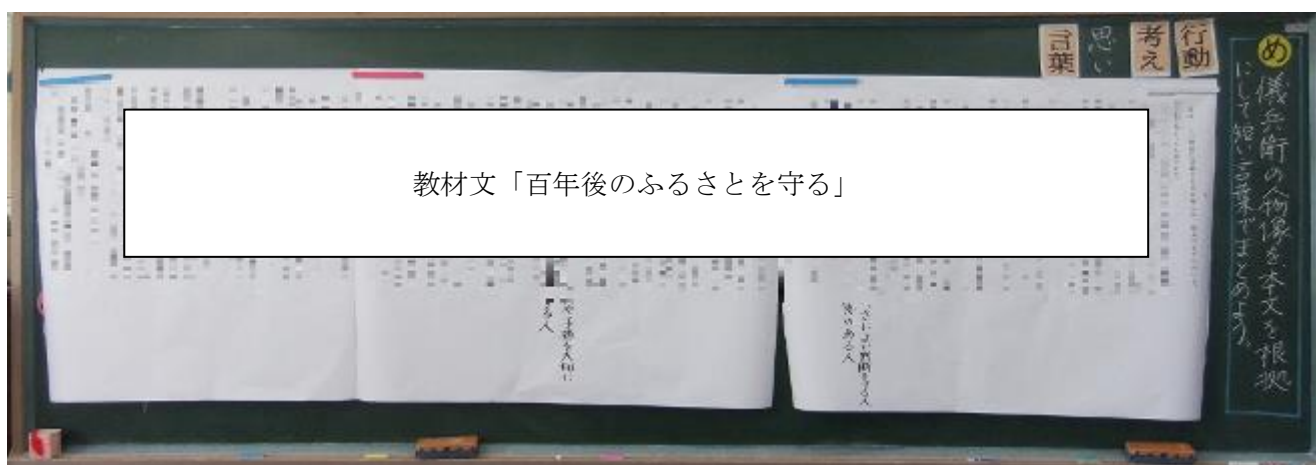
2 本時の展開（全7時間 本時3／7）

学習活動	教師の働き掛け(○)
1 1時目の儀兵衛の人物像を振り返る。	○1時目に抱いた儀兵衛の人物像について紹介をすることで、儀兵衛の人物像をつかませるようにした。 ○この時点では、儀兵衛のすごさを感じる言葉がいくつか出る程度でよく、すごい人と感じられたらよいこととした。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>《本時のめあて》 儀兵衛の人物像を、本文を根拠にして短い言葉でまとめよう。</p> </div>	
3 儀兵衛の人物像を考えるのに適した儀兵衛の行動や考え方を見付ける。 ひとり学び	○本文中の叙述をもとに、儀兵衛のすごさを感じる部分を1つ見付け出させ、儀兵衛の人物像に迫ることを確認した。 ○どんな人物かを考えるには何が分かればよいか発問をすることで、儀兵衛の行動や考え方を見付けることが、儀兵衛の人物像につながることを確認し、傍線を引かせた（ワークシート）。
4 儀兵衛の人物像を短い言葉でまとめる。 ひとり学び	○人物像については、○○な人というように、短い言葉で見出しのように付けることを確認した。 ○なかなかうまくまとめられない児童に対しては、傍線を引いた文中の言葉や「言葉のたから箱」の人物を表す言葉を参考にするとよいことを伝えるようにした。 ○人物像が1つ書けた児童は、更に見付けさせるようにした。
5 友達と意見交流をする。 グループ学び クラス学び	○友達とそれぞれが考えた儀兵衛の人物像や根拠となった部分を交流することで、儀兵衛の人物像をより深めたり、広げたりさせた。 ○自分と同じ考え方や違うところに目を付けている友達がいることに気付かせることで、もっと詳しく読んでいこうという意識を高めるようにした。 ○友達の意見はメモをしてよいことを知らせ、赤で書き込むように指示を出した。【評価】
6 本時の振り返りをする。	○儀兵衛の人物像について教材文の文章を根拠に考えることができたかを振り返らせた。 ○次時は、儀兵衛の人物像を更に詳しく読み取り、人物事典カードに書くことを知らせた。

3 本時の評価

評価規準	浜口儀兵衛の人物像について、文中の言葉を根拠に書いている。【読】		
判断の基準	十分満足できる状況（A）	おおむね満足できる状況（B）	努力を要する状況の児童への支援（C）
	自分が紹介したい浜口儀兵衛の人物像を「～な人」と端的な言葉で表し、その根拠となる文をより儀兵衛の魅力が伝わる部分から適切に選んでいる。	浜口儀兵衛の人物像を「～な人」と端的な言葉で表し、その根拠となる文を適切に選んでいる。	→場面を区切り、範囲を限定することで、見付けやすくし、「儀兵衛のことをどう思うか」と個別に質問することで、自分の考えをまとめさせやすくする。
評価の方法	ワークシート		

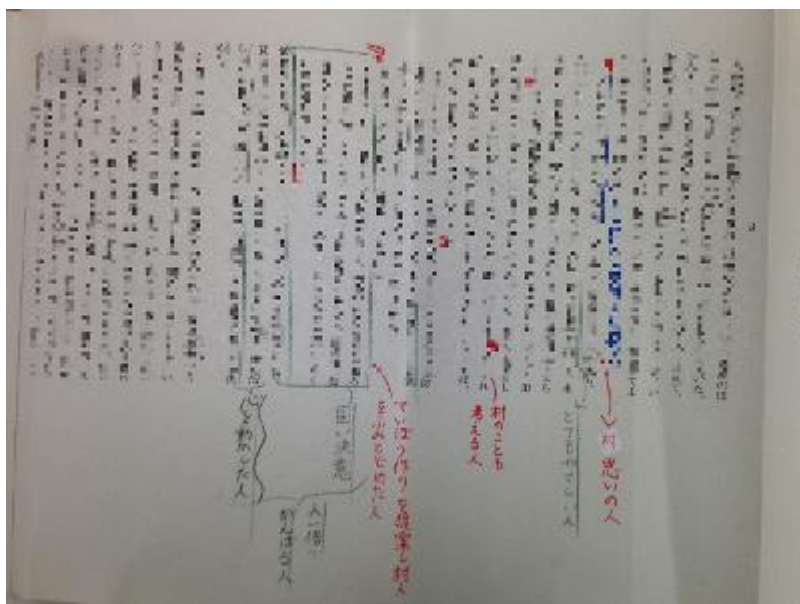
4 板書及び掲示物



3時目の板書（一部）



人物事典カード（モデル文）掲示






児童の教材文への書き込み（ワークシート）

第5学年 実践事例（4時目）

1 本時の目標

自分が考える儀兵衛の人物像を本文中の儀兵衛の行動や言葉、考え方などの叙述を根拠に考え、人物事典カードにまとめることができる。【読】

2 本時の展開（全7時間 本時4／7）

学習活動	教師の働き掛け(○)
1 前時を振り返る。	○前時に選んだ叙述以外で、儀兵衛の人物像に迫る行動や考えはないか、前時の友達との意見交流も参考にさせながら考えさせた。
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>《本時のめあて》 くわしく儀兵衛の人物像を考え、人物事典カードにまとめよう。</p> </div>	
3 儀兵衛の人物像を考えるのに適した儀兵衛の行動や考え方を見付ける。 ひとり学び	○前時と同じように、儀兵衛の行動や考え方を見付けることが、自分が抱いた儀兵衛の人物像につながることを意識させた（ワークシート）。 
4 儀兵衛の人物像を短い言葉でまとめる。 ひとり学び	○人物像については、○○な人というように、短い言葉で見出しのように付けることを確認した。 ○うまくまとめられない児童に対しては、傍線を引いた文中の言葉や「言葉のたから箱」の人物を表す言葉を参考にするとよいことを伝えるようにした。
5 友達と意見交流をする。 グループ学び クラス学び 	○友達とそれぞれが考えた儀兵衛の人物像や根拠となった部分を交流することで、自分の考えをより深めたり、広げたりさせた。 ○友達と意見交流することで、気が付いた自分の考えと同じところや違うところ、納得した考えなどを発表させた。 ○儀兵衛の人物像について、より儀兵衛の魅力が伝わるものを1～3個選び、人物事典カードにまとめさせた。 
6 意見交流をして、より人物の魅力が伝わる人物像を人物事典カードにまとめる。	○人物像の根拠となった叙述については、本文から書き抜かせた。複数の部分から読み取った児童に関しては、短くしてまとめてもよいことを知らせた。【評価】

<p>7 本時の振り返りをする。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>「〇〇はどんな人？」のまとめ方</p> <p>〇〇な人 と短い言葉で書き、四角で囲む。</p> <p>「〇〇な人」の理由になる文を書く。</p> </div> <p>○儀兵衛の人物像について教材文の文章を根拠に考えることができたかを振り返らせ、根拠を基に考えることの大切さを知らせる。</p> <p>○次時は、読み取った儀兵衛の人物像から、自分と比べて感想を書くことを知らせる。</p>
----------------------	--

3 本時の評価

<p>評価規準</p>	<p>人物事典カードに浜口儀兵衛の人物像を文中の言葉を使って根拠に書いている。【読】</p>		
<p>判断の基準</p>	<p>十分満足できる状況（A）</p> <p>自分が紹介したい浜口儀兵衛の人物像を「～な人」と端的な言葉で表し、その根拠となる文がより儀兵衛の魅力が伝わる部分より適切に選んでいる。</p> <p>〈具体例〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・津波から人々を救った場面 ・村人のために堤防を造ることを決めた場面 ・店がつぶれそうでもあきらめなかった場面 	<p>おおむね満足できる状況（B）</p> <p>浜口儀兵衛の人物像を「～な人」と端的な言葉で表し、その根拠となる文を1文選んでいる。</p>	<p>努力を要する状況の児童への支援（C）</p> <p>→儀兵衛の人物像を再度確認し、どんなところで、そう感じたかを質問することで、教材文の文章を読み返すようにさせる。</p>
<p>評価の方法</p>	<p>ワークシート 人物事典カード</p>		

4 板書及び掲示物



4時目の板書



児童の読み取りを残した掲示物

第5学年 実践事例 （5時目）

1 本時の目標

これまでに読み取った儀兵衛の人物像を基に、儀兵衛と今の自分を比べて感想を書くことができる。

【読】

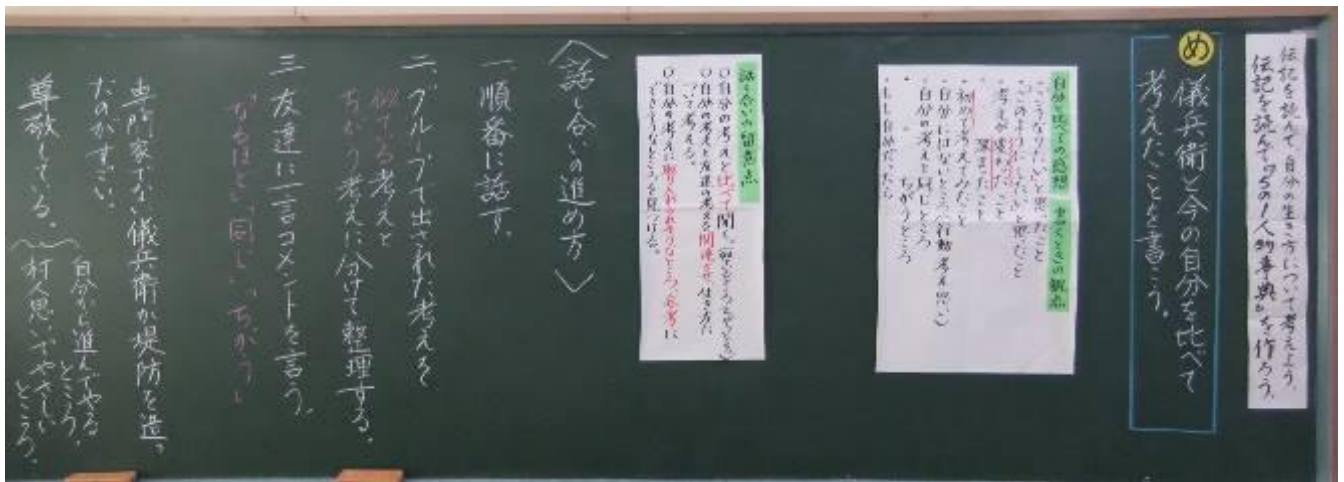
2 本時の展開（全7時間 本時5／7）

学習活動	教師の働き掛け(○)
1 本時のめあてを知る。	○前時までを振り返り、儀兵衛がどんな人物であったか想起させるようにした。
《本時のめあて》 儀兵衛と今の自分を比べて考えたことを書こう。	
2 自分の考えを書きまとめる（ワークシート）。	○穴埋め感想文の型を利用したり、書きまとめるときの観点を提示したりすることで、自分の考えを引き出しやすくなるようにした。
ひとり学び	
書きまとめるときの観点：人物のすごさを感想に書こう。	
<input type="checkbox"/> こうなりたい。 <input type="checkbox"/>このようにしたい（やってみたい）。	
<input type="checkbox"/> 考えが変わった。 <input type="checkbox"/>考えが深まった。	
<input type="checkbox"/> 初めて考えてみた。 <input type="checkbox"/>自分にはないところ（行動・考え・思い）	
<input type="checkbox"/> 自分の考えと同じところ・違うところ <input type="checkbox"/>もしも自分だったら…	
3 書きまとめたものをグループで話し合う。	○グループの話合いに当たっては、「話合いの進め方」を提示し、話合いの進め方と時間の目安を示すようにした。
グループ学び	
クラス学び	
話合いの進め方	
<input type="checkbox"/> 順番に自分の考えを話す。	
<input type="checkbox"/> グループで出された考えを、似ている考えと違う考えに分けて、整理する。	
<input type="checkbox"/> 友達の考えを聞き合い、「なるほど」と感じたことや「同じ考え」「違う考え」を基に、その友達に一言コメントを言うことで交流する。	
話合いの留意点	
<input type="checkbox"/> 自分の考えと比べて聞く（似ているところ、ちがうところ）。	
<input type="checkbox"/> 自分の考えと友達の考えを関連させ、生き方について考える。	
<input type="checkbox"/> 自分の考えに取り入れられそうなところ、参考にできそうなところを見付ける。	
4 話し合ったことを基に、自分の考えを付加・修正しながら、人物事典カードに書く。	○出てきた感想の中から、数名の友達の考えを発表させ、クラス全体でも交流するようにした。 <input type="checkbox"/> 話合いを通して、自分の考えが広がったり深まったりしたことを生かして人物事典カードの「自分と比べて」の欄を書かせた。【評価】
5 本時を振り返る。	<input type="checkbox"/> 自分と比較した感想をもち、交流することができたかを振り返らせた。 <input type="checkbox"/> 次時は、自分が選んだ伝記で、人物事典カードを書くことを知らせ、自学で取材ノートを作るように指示を出しておく。

3 本時の評価

評価規準	・浜口儀兵衛のすごさに気付き、今の自分と比べて感想を書いている。【読】		
判断の基準	十分満足できる状況（A）	おおむね満足できる状況（B）	努力を要する状況の児童への支援（C）
	浜口儀兵衛から影響を受けたことを、今の自分と比べて複数の視点から感想を書いている。	浜口儀兵衛から影響を受けたことを、今の自分と比べて感想を書いている。	感想がまとめられない児童には、友達の発言を聞いて、自分もそうだと感じたことを参考にしてよいことを伝える。また、教師作成のモデル文も参考にさせる。
評価の方法	ワークシート 人物事典カード		

4 板書及び児童の活動



5時目の板書

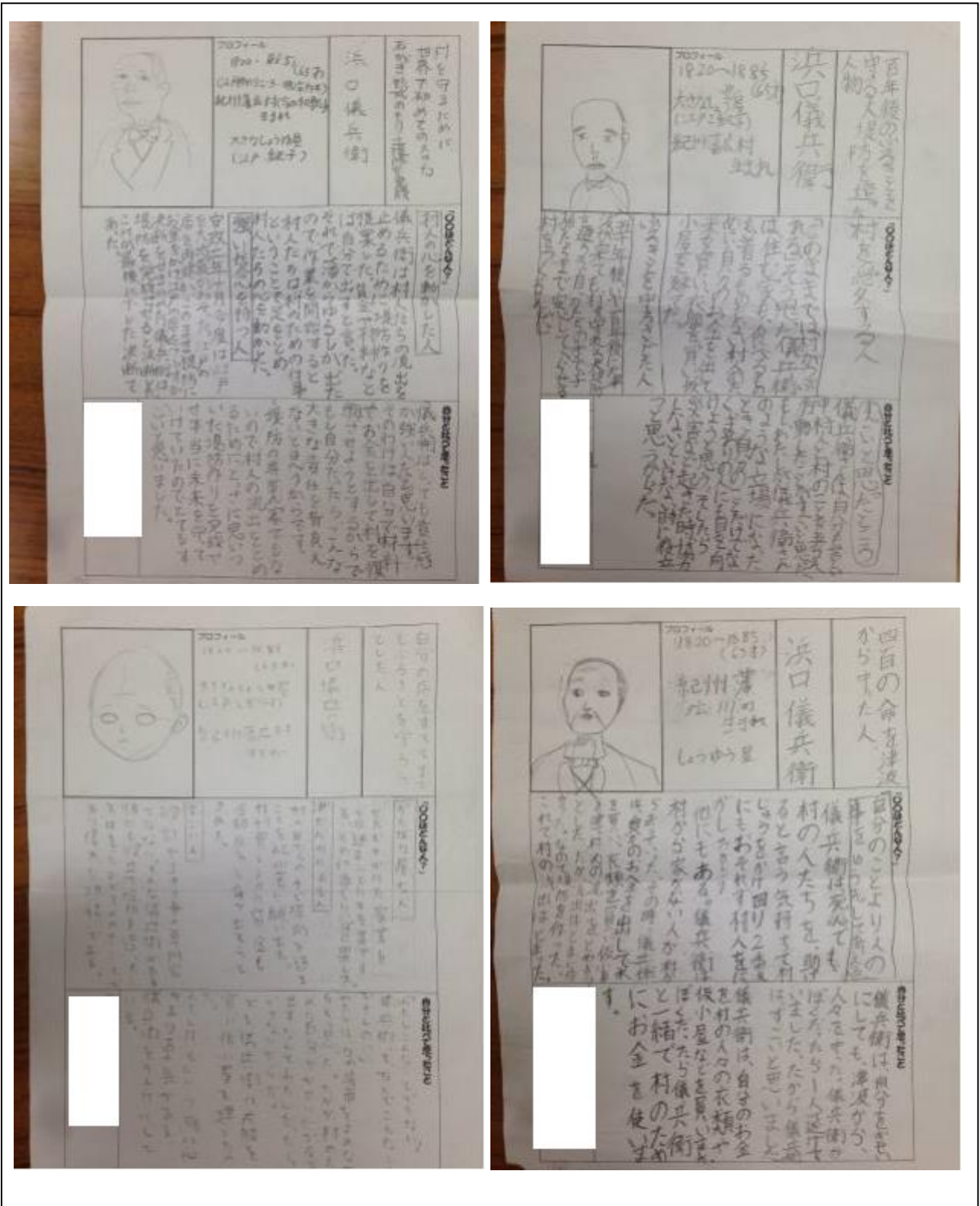


グループ学びの様子



感想を人物事典カードにまとめている様子

5 児童の人物事典カード




児童の人物事典カード（浜口儀兵衛）

第5学年 実践事例（6時目）

1 本時の目標

- ・自分が選んだ伝記の人物の業績、簡単なプロフィール、人物像、自分と比べての感想を書くことができる。 【読】
- ・話し言葉と書き言葉の違いに気付いて人物事典を書くことができる。 【言】

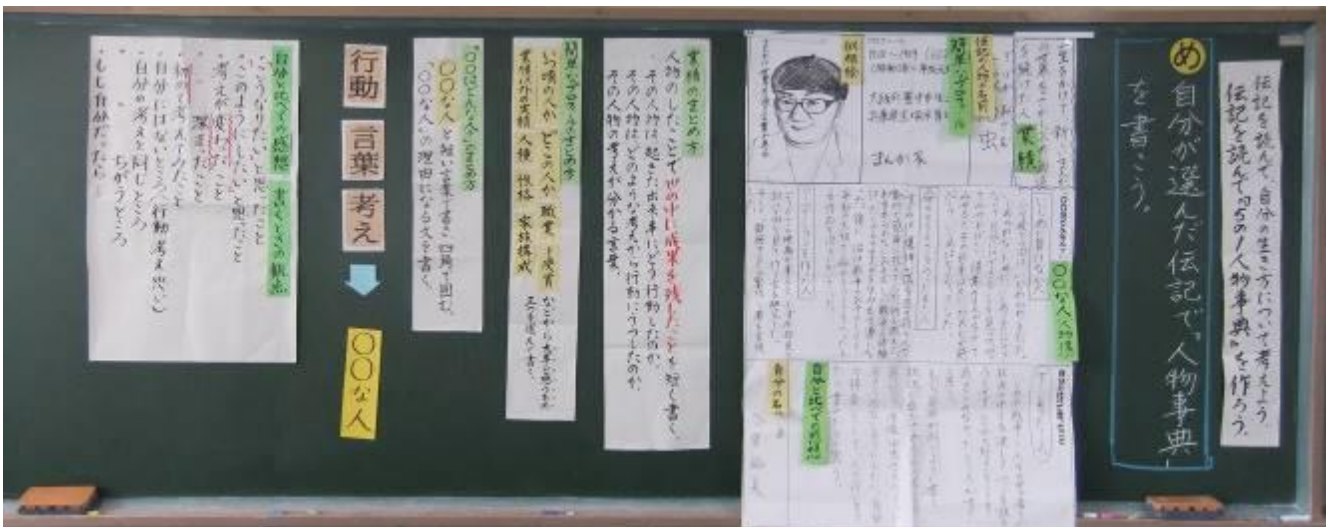
2 本時の展開（全7時間 本時6／7）

学習活動	教師の働き掛け(○)
1 本時のめあてを知る。	○選んだ伝記（対象人物）の印象に残った人物像について確認させた。
《本時のめあて》自分が選んだ伝記で「人物事典」を書こう。	
2 書く手順を確認する。	○「浜口儀兵衛」の人物事典を書いたことを思い出させながら、活動を確認させた。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> 「人物事典カード」を書く手順 </div> <ol style="list-style-type: none"> ① 人物の業績と簡単なプロフィールを書く。 ② 心に残った人物像が分かる文に付箋を貼る。 ③ 心に残った内容から「～な人」の言葉を考える。《資料参照》 ④ 「自分と比べて感想」を書く。 <p style="text-align: center;">《学習計画に載せている視点やモデル文を参考にさせる。》</p>	
3 人物事典カードをまとめる。	○1時間で書かせるために、伝記の人物を記録した取材のノートを活用させるようにした。
 <p>伝記の本を読み返しなが ら、人物事典カードを書い ていく児童</p>	○書き方が理解できている児童は、①から④へと順々に進んで自力で書かせるようにした。
	○どのような人かを考える際に、自分の思いや考えに合う言葉が見付からない児童には、「言葉のたから箱」を参考にしてよいことを助言し、文中のどこでそのように感じたかを、もう一度探すように助言した。
	○「自分と比べて感想」を書く際に悩む児童に対しては、再度、穴埋め感想文の型やまとめるときの観点を確認したり、モデル文を参考にしたりするように助言した。
	○進み方に個人差が考えられるため、教室後方に友達と読み合えるコーナーを設けた。
	○似顔絵に関しては、最後に取り組ませるようにし、印刷物を貼ってもよいことや宿題としてもよいことを伝えた。 【評価】
4 学習を振り返る。	○人物事典を書く手順に沿って活動することができたか、自力で人物事典を書くことができたかを自己評価させた。

3 本時の評価

評価規準	<ul style="list-style-type: none"> 自分が選んだ伝記の人物の業績、簡単なプロフィール、人物像、自分と比べて感想を書くことができる。【読】 話し言葉と書き言葉の違いに気付いて人物事典を書くことができる。【言】 		
判断の基準	十分満足できる状況（A）	おおむね満足できる状況（B）	努力を要する状況の児童への支援（C）
	自分が選んだ伝記の人物の人物像をその人物のすごさが分かる行動や考え、思いなどを根拠に書き言葉で人物事典カードをまとめている。	自分が選んだ伝記について、書き言葉で人物事典カードをまとめている。	→あらかじめ、声を掛けて読みやすい本を紹介しておく。本の感想を聞くことで、印象に残った場面を確認させるようにする。 →書き言葉で書くことができていない児童には、モデル文を参考にさせたり友達の人物事典カードと比較させたりする。
評価の方法	人物事典カード		

4 板書



6時目の板書

第5学年 実践事例 （7時目）

1 本時の目標

友達の人物事典カードを読み、対象人物のすごさや友達の考えを知り、それに対する感想を述べることができる。【関・意・態】

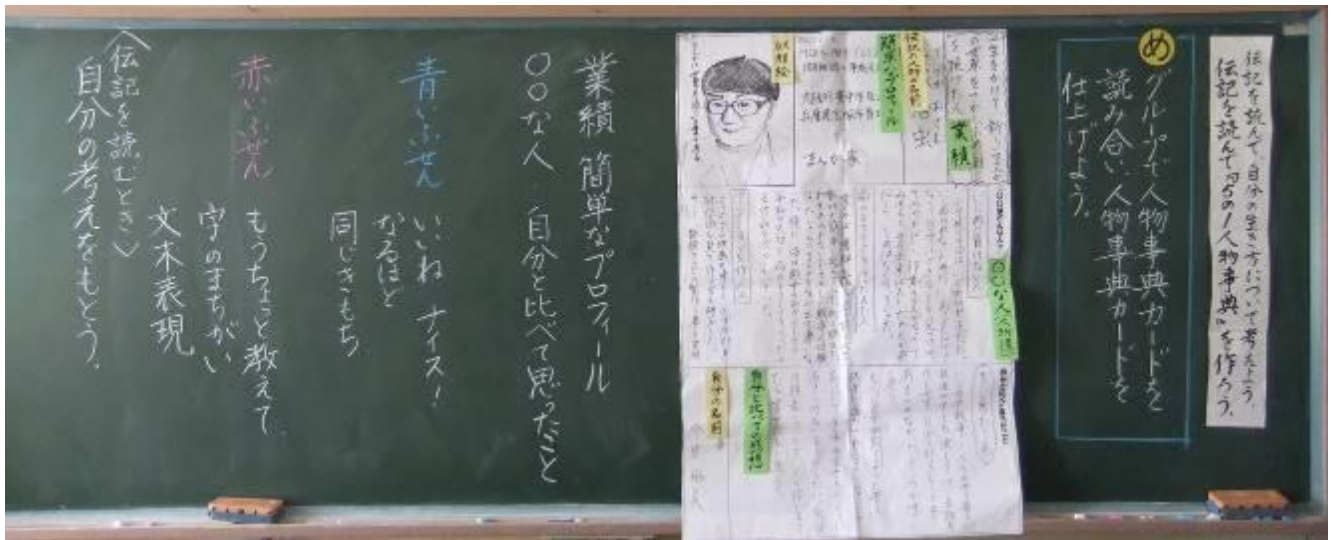
2 本時の展開（全7時間 本時7/7）

学習活動	教師の働き掛け(○)
1 本時のめあてを知る。	○グループで読み合えるように、グループの人数分をコピーしておき、児童に配布した。
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>《本時のめあて》 グループで人物事典カードを読み合い、人物事典カードを仕上げよう。</p> </div>	
2 グループで読み合う（3～4名）。	○友達の人物事典カードを「業績」「簡単なプロフィール」「人物像」「自分と比べて」の項目で読み取らせ、よく分かったところやすごいと感じたところを伝え合させた。【評価】 ○友達の考えを聞き、自分の考えが深まったところや広がったところを見つけ、自分の人物事典カードを仕上げさせた。
3 感想交流を基に、自分の人物事典カードの付加・修正をする。	○伝記を読む良さは、伝記の人物のすごさを知り、自分の生き方を考えるところであることを振り返らせ、今後の読書活動につなげさせるようにした。また、全員分の人物事典カードを印刷したものをクラス全員、他のクラスに1冊、図書室に1冊配布し、伝記の読み広げにつなげるようにした。
4 学習を振り返る。	○本単元でどのような力が自分自身に付いたのかを振り返らせ、これからの学習に生かしていくように声掛けをした。

3 本時の評価

評価規準	人物事典カードを読み合い、自分の伝記と比較して感想を發表することができる。【関・意・態】		
判断の基準	十分満足できる状況（A）	おおむね満足できる状況（B）	努力を要する状況の児童への支援（C）
	友達の人物事典カードを「業績」「簡単なプロフィール」「人物像」「自分と比べて」の項目に対する感想を發表している。	友達の人物事典カードを「業績」「簡単なプロフィール」「人物像」「自分と比べて」の項目のいずれかに対する感想を發表している。	→話合いに入れない児童に対しては、教師も話合いに入ることで支援をするようにする。
評価の方法	人物事典カード		

4 板書



7時目の板書